

9月20日 寺坂（寺坂老人憩の家にて）

<主なやりとりと対応状況>

\* 対応状況は矢印⇒です。

- 町内24地区の地域会館のうち、河川に沿って建築されてるのは寺坂地区のみになっている。大雨災害の際には地域内に避難する場所がない。建替えを町でも考えてもらいたい。地所が必要なら、地区で一緒に考えていきたい。建替えのために何が必要なのかを話し合っ、前に進めたい。  
⇒ 以前に候補にあがっていた移転先について、建築が可能となるよう農振農用地を解除するための相談をしています。改めて担当者から状況を報告させていただきました。
- 地域会館の移転の件は、全然進めることができていない。農振農用地に関する書類を出すには、本一冊くらいかかないといけないと言われている。知識のない地域住民だけでは無理であり、行政にも協力してもらいたい。  
⇒ 町も協力して対応していきます。
- 地区の空き家に空き巣が入るという事案が発生した。空き家が増えると、それだけ狙われやすくなってしまふ。地区内でも数件は住んでいない家屋があるように見える。過疎化を食い止めるべく、移住などにも活用してもらいたい。  
⇒ 空き家対策として、令和8年度はリフォームや解体の補助を行えるようにしたいと考えています。
- 逝除院の入り口の道路が掘れてしまっているの、修繕してもらいたい。  
⇒ 担当者が現場を確認し、対応しています。
- ふるさと納税を推進したとしても、大きな収入にはならず、黒字にはならないのではないか。  
⇒ ふるさと納税は工夫次第ですので、寺坂地区の特産である柿など、伸びしろはあると思います。
- 町の財政状況は、県内で比較するとどれくらいの状況なのか。  
⇒ 財政力指数の数値は県内で真ん中くらいですが、指数が1を超えると地方交付税をもらえなくなってしまうので、財政力指数が財政状況を必ずしも的確に示しているともいえないと思います。よく収増を図るべきとの意見を聞きますが、収増が増えると、地方交付税が減ってしまいます。一方で、ふるさと納税などの寄付金は税外収入になるため、地方交付税を減らさずに財源確保できますので、町として力を入れ

ています。

- 返礼品目当てのふるさと納税は趣旨と違うと思う。国の政策をどうにかさせるべきではないか。
  - ⇒ 何もしないでいると、町から財源がどんどん出て行ってしまいます。ふるさと納税として1億5千万円くらいが他自治体への寄付として町から出て行ってしまっています。ふるさと納税に力を入れたことで、ようやく収支が均衡しつつあります。
  
- 大磯町には企業が少ないので、企業誘致をして働く場所を確保してはどうか。遊休地が多くあるので、有効活用を考えてもらいたい。
  - ⇒ 雇用がなくなると若年層が流出してしまいます。少しずつ農業に若い方が入ってきています。工場誘致も様々な企業に働きかけています。
  
- 大磯港の駐車場の収益はどのようになっているのか。利用率はどれくらいなのか。土日の利用が多いのであれば、イベントを平日にしてはどうか。
  - ⇒ 土日の利用が多い状況ではありますが、それでも満車にならないことがありますので、まずは土日の利用から増やしていきたいと考えています。3月と11月に開催したドッグランのイベントでは、開催日には満車になりました。
  
- 中学校では昼食支援を行っているが、給食施設の整備はどうなっているのか。給食センターを整備するのがよいのではないかと。現町長になってから、給食の話題が出るのがあまりないように思える。
  - ⇒ 中学校給食を実施していきたい気持ちはあるし、町民も望んでいることだと思います。前町長の期間で自校式の方角付けがされていますが、学校施設はこれから建替改修があるので、二重投資になることを懸念しています。センター式については、配送しても冷めない技術が進歩したり、災害時の活用も期待できます。令和8年度は今後の方向性をしっかり決めていきたいと考えています。

以上